

は　し　が　き

200浬時代に対応して沿岸沖合漁場の見直しがはかられている。このようなとき、かねて県が建設していた栽培漁業センターが昭和53年10月から発足し、栽培漁業の事業化に第一歩を踏み出した。

一方、伊勢・三河湾の奥部では埋立て、都市化の進展により、水質の富栄養化が進んで赤潮が多発している。このため、赤潮の調査、対策樹立が要請されている。

本県南方を流去する黒潮は近年遠州灘沖冷水塊の西偏により熊野灘・遠州灘に接近して東流し、回遊性魚類に異変が生じている。とくに、マイワシの豊漁と低価格が話題となっている。

ノリ養殖では主として知多西岸域で新緑斑病の発生をみ、この対策研究を本年度から開始した。

また、内水面養殖では用水不足のため循環飼育、ハウス加温養殖が普及したので生産は増大しているが、一方、魚病が多発しておりこの対策に苦慮しているところである。

このような状況のなかで実施した昭和53年度試験調査の概要をとりまとめ参考に供する。

愛知県水産試験場長 中村良二

目 次

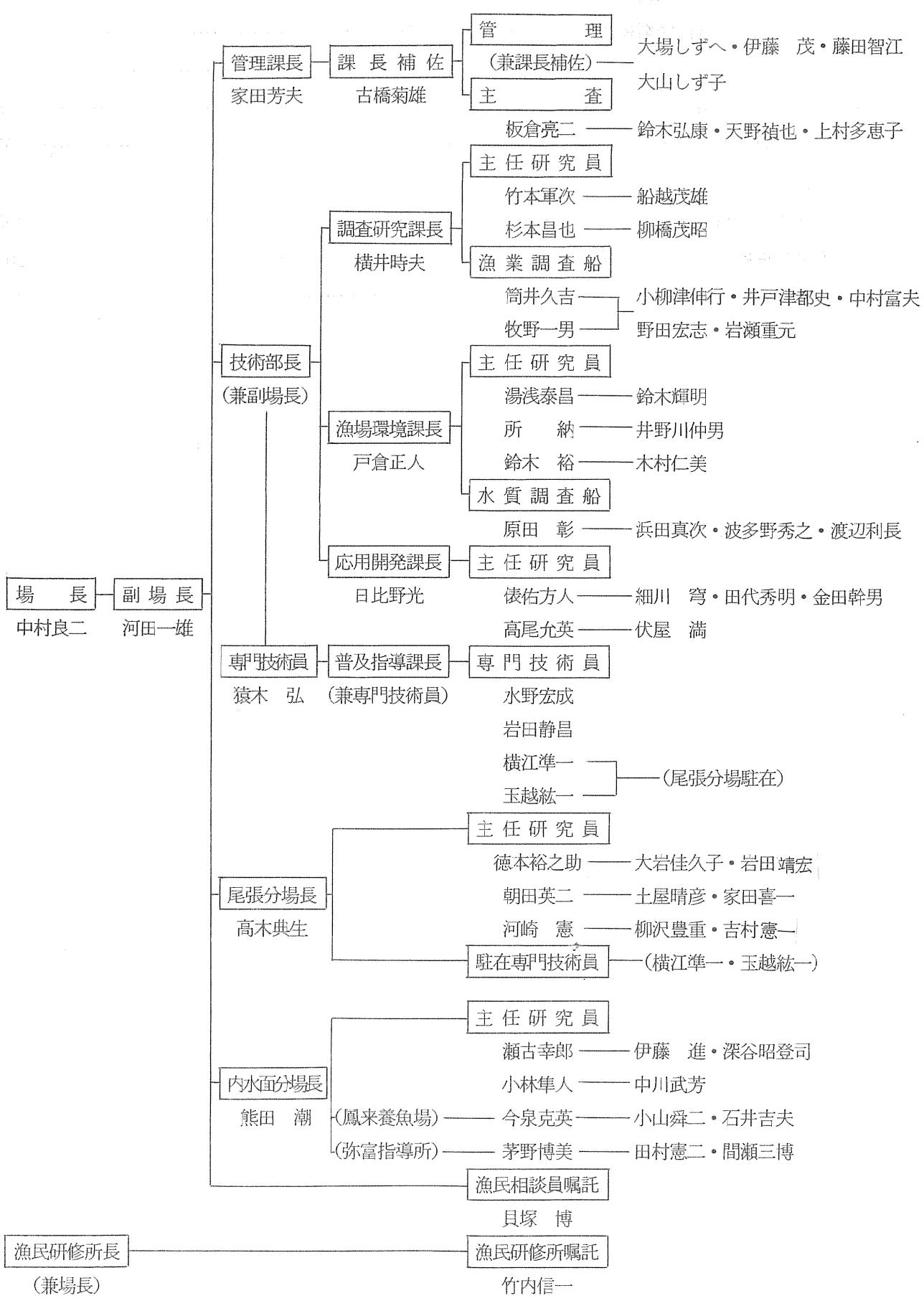
水産試験場の機構並びに事業別決算額	1 ~ 2
本 場	
水産資源調査	
漁況海況予報事業	4
200カイリ水域内漁業資源調査・沿岸重要資源調査	6
組織的調査研究活動推進事業	11
沿岸・近海漁業試験	
渥美外海漁場調査	16
源式網漁具の改良	17
底魚一本釣漁業	19
貝けた網漁業	22
漁場環境調査	
沿岸漁場調査（赤潮等）	24
三河湾におけるプランクトン調査	26
三河湾奥部における異常環境調査	28
内湾での全水溶性窒素の把握	31
伊勢湾広域総合水質調査（環境庁委託事業）	31
水質監視調査事業（環境庁補助事業）	32
水質調査船「しらなみ」運航	32
海況自動観測装置管理	33
水産公害調査並びに試験	
水産物汚染調査	37
水産被害調査	39
洗剤の毒性テスト	41
増養殖技術開発試験	
ノリの品質向上（退色回復）	43
ノリ優良品種の選抜	46
スサビノリ系統、張り込み場所の収量に及ぼす効果	47
フリー芽胞体の親綱直接採苗によるワカメ養殖（I）	51
アミノ酸の赤腐れ病防除効果	54
栽培漁業促進（クルマエビ放流干潟調査）	58
貝類増殖Ⅰ（人工干潟造成）	61
貝類増殖Ⅱ（福江湾東側におけるアサリ稚仔の沈着調査）	62

浮魚礁研究	65
水産業改良普及事業	
支柱・浮流しノリの品質比較	69
イタヤガイの養成と天然採苗	72
エビ流し網（源式網）の資材による改良	76
サルボウの増養殖	77
漁業後継者対策事業	
交流学習事業	83
青少年水産教室	84
漁民研修所及び漁民相談	
愛知県漁民研修所	85
漁民相談	86
ノリ養殖概要（昭和52・53年度）	88
各種事業関連調査	
藻場保護水面効果調査	93
人工魚礁調査	94
尾張分場	
かん水種苗生産研究	
クルマエビ種苗生産	98
ガザミ種苗生産	98
アカガイ種苗生産	99
クロダイ種苗生産	101
幼稚仔保育場造成事業調査（アワビ）	105
藻類養殖技術開発試験	
ノリ	108
コンブ	108
モズク	110
ノリ新綠斑病対策研究	111
伊勢湾・知多湾沿岸漁場調査	114
水産種苗供給事業	
アワビ種苗生産	118
ワカメ種苗生産	118
内水面分場	
アユ養殖技術研究	
アユのビブリオ病に対する経口ワクチン効果	120

アユ養殖技術研究	123
ワナギ養殖技術研究	
止水式ハウス加温養鰻のメカニズムの究明 III (高密度加温飼育)	126
ハウス加温養鰻池における他魚種の混養による環境改善	128
循環沪過飼育における換水量がワナギの成長におよぼす影響	131
ワナギの適正収容密度 II	134
シラスワナギのパラコロ病に関する試験 I (菌浴感染実験)	138
〃 II (経口感染実験)	140
〃 III (イトミミズの消毒効果)	141
〃 IV (分離菌の薬剤感受性)	143
塩水浴処理薬浴法による薬剤の吸収差	145
シラスワナギのアンモニア排泄量	146
ワナギの越冬中の体重減耗	149
活性納豆菌のワナギ飼料への添加効果	152
人為的性制御 (Estrone) によるヨーロッパウナギの性分化に関する実験	155
内水面増殖指導調査	
養魚技術指導	159
アユの河川放流効果調査 I	159
〃 II	162
養殖環境調査	164
シラスワナギの漁況調査	167
(鳳来養魚場)	
冷水性魚類養殖技術開発試験	
チョウモドキの駆除	170
アマゴの海水馴致	172
ドナルドソン系ニジマスの成長比較	174
魚種別による生育温度の限界	176
指導調査	
設楽地区における主要河川の魚類分布	178
ニジマスのビブリオ病調査	180
降海性アマゴ放流技術開発研究	182
(弥富指導所)	
観賞魚試験	
魚病対策	186
養魚環境保全 (キンギョ養殖池の水質とプランクトン)	188

養魚環境保全（養殖河川の水質）	190
飼料改良（低蛋白飼料によるリュウキンの体型改良—I）	191
〃（　　〃　　—II）	194
〃（脱脂大豆ミールを利用した養魚飼料）	195
人工交配	197
指導調査	
キンギョ養殖状況	200
ナマズ親魚養成と人工生産	203
ニシキゴイの親魚判定	207

機構と職員(昭和53年7月現在)



事 業 別 決 算 額

水産試験場費	336,095 千円	千円	千円
試験費	58,779		
魚類増殖技術試験費		16,745	
藻類増殖技術試験費		4,317	
水産資源調査試験費		13,865	
魚場環境調査試験費		8,661	
沿岸近海漁業調査試験費		15,191	
水産種苗供給事業費	1,740		
漁民研修所運営費 (含漁民相談員活動費)	5,009		
海況自動観測塔運営費	5,000		
漁業情報サービスセンター負担金	900		
施設設備整備費	16,950		
小計	88,378		
運営費	10,776		
人件費	236,941		
水産業振興費	15,244		
公害対策費等(環境部)	24,125		
財産管理費等	6,376		
合計	381,840		